



イヌタテ 花言葉：あなたの役に立ちたい

秋の「ツルの自然体験学習会」

「四万十つるの里づくりの会」と国土交通省中村河川国道事務所の共催で、未来のツルの守り手を育てる環境教育の取り組みを11月7日(火)に行いました。

参加した東中筋小学校の5年生と東中筋中学校の1年生は、はじめに、ツルの餌となる二番穂が実る江/村箇所の水田を訪れ、「つるの会」から、地元農家の方と協働で耕作と管理を続け、荒廃した休耕田がかつてのような水田に還元されたことを聞きました。

そして、もうすぐツルが日本に渡ってくる時期であることから、今年度の越冬地整備の仕上げとして、ツルを呼び寄せるための模型「テコイ」の設置作業を手伝いました。

また、中村河川国道事務所から「四万十川自然再生事業(ツルの里づくり事業)」で、中筋川に流れ込む樋門の段差がなくなったことを聞き、水路の生き物を確認することで実際にその効果を確認しました。タモ網で水路脇をガサガサとすると、隠れていた小魚や、川と海を行き来しながら生活するシマヨシポリやテナガエビ類がたくさん入りました。

ツルは稲穂だけでなく、水生動物も食べます。江/村箇所がツルのえさ場として利用できる環境となっていることを学んだ子どもたちは、捕まえた生き物をやさしく水路に戻しました。

また、ツルの里づくり事業で整備した中山箇所の人工湿地も訪れ、官民の協働により、中筋川流域のいろいろな場所でツルが越冬できる環境が還元・再生されていることを学びました。



入田ヤナギ林一斉清掃

四万十川の河畔林には、中村河川国道事務所が「四万十川自然再生事業(アユの瀬づくり事業)」で実施した間伐によって葉の花が咲くようになり、毎年3月には恒例の「入田ヤナギ林葉の花まつり」が開催されます。

地元では、満開の葉の花に彩られたキレイな会場で観光客を迎えたいとの思いから、四万十市観光振興連絡会議の呼びかけで毎年秋にボランティアによる清掃が行われており、今年は11月8日(水)に開催されました。

この日はあいにくの雨模様でしたが、入田地区の人たちや、様々な団体からの参加者など、約50人が集まりました。

入田ヤナギ林は、記憶にも新しい9月の台風18号と10月の台風22号の二度の襲来により、例年より多くのゴミや流木が散乱し、木の上にはモク(枯れ草や枯れ枝など)がびっしりと絡みついていました。

参加者はめかるみに足をとられながら、大量に落ちているゴミなどをスキヤクワを使って拾い集めたり、木に絡みついているモクなどは長い棒や重機を使って撤去しました。

足もとが悪く、思うように作業を進めることができず、予定していた範囲のすべてを時間内に清掃し終えることはできませんでしたが、皆で汗を流した場所は見違えるほどキレイになりました!



四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

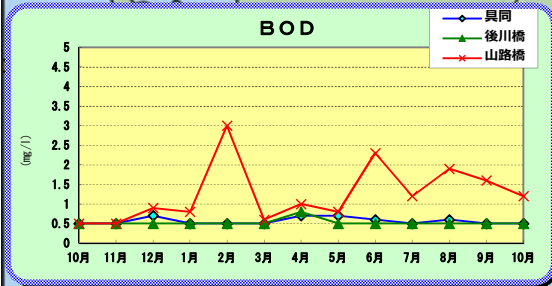
10月の四万十川の様子

四万十川の水質

具同観測所
(10月4日測定)

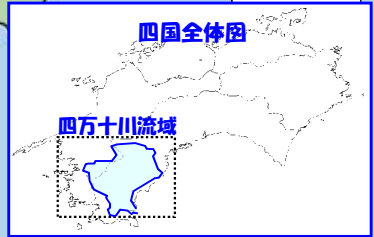
水温 21.6℃
 pH 7.5
 BOD 0.5mg/l
 SS 1mg/l
 DO 9.4mg/l
 大腸菌群数 1100MPN/100ml
 流量(日平均) 73.1m³/s

※測定値は全て速報値です

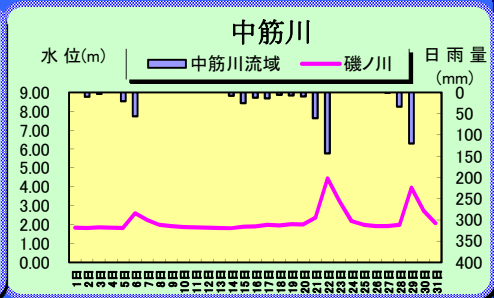
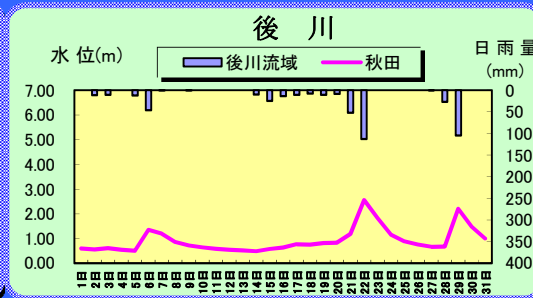
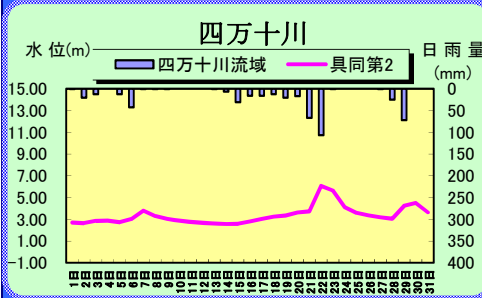


BOD環境基準値

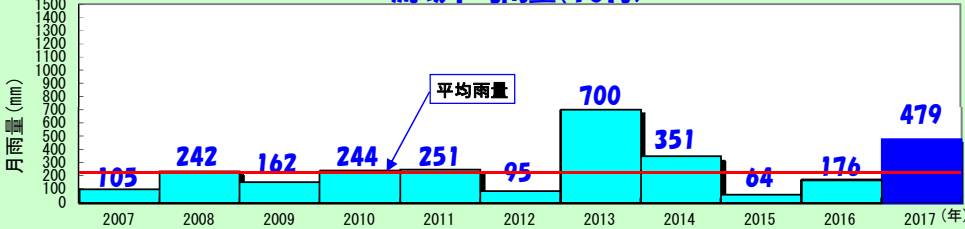
四万十川	1.0mg/l以下
後川	2.0mg/l以下
中筋川	3.0mg/l以下



雨量・水位データ



流域平均雨量(10月)



10月の四万十川流域平均雨量479mmは平年の2.0倍程度の雨量です。
 なお、過去10年間の平均雨量は239mmです。
 ※四万十川流域平均雨量について、四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。
 ※測定値は全て速報値です。

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

